



AvePoint®

DocAve® コネクタ

DocAve コネクタを活用したファイルシェア統合



社内コンテンツをすべて SharePoint 2013 へと移行することを計画しています。しかし、現在ファイルシェア内に多くのコンテンツが保管されており、これらデジタル資産に対するアクセスを一本化してエンドユーザーに提供する必要があります。

そこで IT 管理者は、コンテンツを移行するのではなく、ファイルシェアをそのまま統合することで、移行に必要な時間や SQL ストレージを追加購入するコストを回避する方法を考えています。

ステップ 1



IT 管理者は DocAve コネクタを展開してファイルシェア内のコンテンツを丸ごと SharePoint へと統合します。

ステップ 2



IT 管理者は、コネクタを使用して新しくコネクタライブラリを作成します。

ステップ 3



IT 管理者は、フォルダーパスを使用してコンテンツがすべて保管されているファイルシェアディレクトリをマッピングしていきます。

ステップ 4



IT 管理者が同期を実行すると、ファイルシェア内のコンテンツに対して SharePoint 上からアクセスできるようになりました。

ステップ 5



組織内の全従業員が必要なファイルに対してアクセスし、編集を行うことができるようになっただけでなく、全文検索や Office Web Apps、バージョンのトラッキングなど、SharePoint の持つ様々な機能を活用することが可能になりました。

結果



IT 管理者

頭を悩ませていた移行プロジェクトや SQL Server ストレージなどの課題から解放されました。



ガバナンス担当者

エンドユーザーによる活用の促進を達成しました。



エンドユーザー

SharePoint の機能を全て活かした形でファイルに対するアクセスの一本化が実現できました。